

○アドミッションポリシー

1. 基本方針

本学科では、ディプロマポリシーに掲げる学修成果（DP-A～DP-G）を達成できる学生を受け入れるため、工学を学ぶための基礎学力を備え、主体的に学修に取り組む意欲を有する人材を求めます。

本アドミッションポリシーは、学科及び各コース・分野において求める学生像を示すものであり、入学後の教育は、カリキュラムポリシーに基づき段階的に行います。

2. 創造工学科における求める学生像

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で、以下のような資質や意欲を備えた学生の入学を期待しています。

(1) 工学・ものづくりへの関心と将来像

技術者として社会に貢献したいという意欲を持ち、工学や「ものづくり」に関心を有している人。【対応DP：DP-C、DP-D、DP-E】

(2) 主体的に学び続ける姿勢

向上心を持って学校生活に取り組み、新しい知識や技術を学び続けようとする意欲のある人。【対応DP：DP-G】

(3) 社会や地域への関心

社会の出来事や身近な課題に関心をもち、より良い社会を築こうとする意識を有している人。【対応DP：DP-A、DP-B】

(4) 協調性と他者への配慮

約束や規則を守り、周囲の人々を尊重しながら協働できる人。【対応DP：DP-E、DP-F】

(5) 挑戦する姿勢

失敗を恐れず、新しいことに挑戦し、粘り強く取り組もうとする意欲を有している人。

【対応DP：DP-E、DP-G】

3. 入学者選抜の基本方針

A. 第1年次入学者選抜

基礎学力及び学修意欲を総合的に評価し、本学科での学修に必要な基盤を有する者を選抜します。基礎学力については、本校での学習に重要な数学、理科、英語の成績を重視します。

(1) 自己推薦選抜

○ 自己推薦（一般）による選抜

志望動機書、個人調査書及び面接により、出願資格を満たした志願者の学修意欲、関心分野、主体性及び適性を評価します。

○ 自己推薦（特別）による選抜

志望動機書、個人調査書、作文及び面接により、出願資格を満たした志願者の学修意欲、関心分野、主体性及び適性を評価します。

○ 自己推薦（数学重視）による選抜

志望動機書、個人調査書及び面接により、出願資格を満たした志願者の学修意欲、関心分野、主体性及び適性を評価します。

(2) 学力選抜

○ 一般学力選抜

出願資格を満たした志願者を、学力検査（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書により、工学を学ぶために必要な基礎学力と学修姿勢を評価します。

○ 北海道内4高専複数校志望受検制度による選抜

出願資格を満たした志願者を、学力検査（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書により、工学を学ぶために必要な基礎学力と学修姿勢を評価します。

○ 帰国子女特別選抜

出願資格を満たした志願者を、学力検査（数学、理科、英語）及び調査書により、工学を学ぶために必要な基礎学力と学修姿勢を評価します。

B. 第4年次編入学者選抜

志望するコース・分野の学修に必要な基礎学力及び専門的素養、ならびに主体的に学修に取り組む意欲を有する者を選抜します。英語、数学、理科（筆記試験）又は専門科目（口頭試問）（高等学校の出身科により、理科又は専門のいずれかを出题）による学力検査、面接及び調査書により総合的に評価します。

4. コース・分野別に期待する学生像

スマートメカニクスコース（情報工学分野・機械工学分野）

情報技術と機械技術の融合に関心を持ち、情報工学分野又は機械工学分野のいずれかを基盤として、将来的に両分野を横断的に学修したいと考えている人を期待します。【対応DP：DP-C、DP-D、DP-E】

情報工学分野

1. コンピュータやプログラミングに興味がある人
2. 情報を活用して社会や産業に貢献したいと考えている人

機械工学分野

1. 機械やものづくりに関心があり、新しい製品や仕組みに挑戦したい人
2. 人や環境に配慮したものづくりに関心を有している人

エレクトロニクスコース（電気工学分野・電子工学分野）

電気・電子工学分野の共通基盤を学び、社会インフラや情報通信技術を支える技術者を目指す人を期待します。【対応DP：DP-C、DP-D、DP-E】

電気工学分野

1. エネルギー、電力などに興味がある人
2. 社会を支える基盤技術に関心を有している人

電子工学分野

1. 半導体、通信、制御、情報技術に興味がある人
2. 新しい電子デバイスや情報通信の仕組みに挑戦したい人

建築デザインコース

建築のデザインや構造、環境に関心を持ち、安全で快適な空間づくりを学びたい人を期待します。【対応DP：DP-C、DP-D、DP-E】

建築学分野

建築学分野は、建築の「意匠と計画」「構造と材料」「環境と設備」に関する技術を学び、「使いやすさ」や「安全性」と共に、「空間の美しさ」を追求できる高度な技術者を養成します。そのため、私たちは次のような人を期待します。

1. 建物や空間のデザイン、構造、環境に関心がある人
2. 人々の安全性や快適性を考えた空間づくりに興味を持つ人